

水稲用初・中期一発処理除草剤

バットウZ[®]

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ



クログワイ



ホタルイ



オモダカ

クログワイ・抵抗性ホタルイ・
オモダカなどの
難防除雑草に安定の効果!

難防除雑草に加え、畦畔から侵入するイボクサや、
3葉期まで成長したノビエにも高い防除効果を発揮します。

- 難防除雑草や畦畔から侵入する雑草の防除に高い効果を発揮。
- 省力的な田植同時散布が可能。(1キロ粒剤のみ)
- 3つの有効成分が効く。

① ピラクロニル ② プロピリスルフロン ③ ベンゾビスシクロン



1キロ粒剤
農林水産省登録
第24496号



フロアブル
農林水産省登録
第24495号



ジャンボ
農林水産省登録
第24497号

バットウは住友化学(株)の登録商標

“バットウZ 1キロ粒剤”の適用と使用方法

農林水産省登録 第 24496 号

[有効成分] ビラクロニル…2.0%
プロピリスルフロ…0.90% ペンゾピシクロ…2.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミスガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機に よる散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミスガヤツリ	草丈20cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	発生初期
クログワイ	発生前から 発生初期まで
コウキヤガラ	発生初期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生初期

“バットウZ フロアブル”の適用と使用方法

農林水産省登録 第 24495 号

[有効成分] ビラクロニル…3.8%
プロピリスルフロ…1.7% ペンゾピシクロ…3.8%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、 セリ、エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機に よる滴下
		稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミスガヤツリ	草丈20cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
エゾノサヤヌカグサ	発生初期まで
オモダカ	発生前から 発生初期まで
クログワイ	発生前から 発生初期まで
コウキヤガラ	発生初期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生初期まで

“バットウZ ジャンボ”の適用と使用方法

農林水産省登録 第 24497 号

[有効成分] ビラクロニル…5.0%
プロピリスルフロ…2.25% ペンゾピシクロ…5.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミスガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装(パック) 10個 (400g)/10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる
		稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミスガヤツリ	草丈20cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	発生前から 発生初期まで
クログワイ	発生前から 発生初期まで
コウキヤガラ	発生初期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

ビラクロニルを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロピリスルフロを含む農薬の総使用回数	2回以内	ペンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数	3回以内
-------------------	------	---------------------	------	---------------------	------

(上記の内容はすべて2022年3月現在の登録内容)

使用上の注意事項

【3剤型共通の使用上の注意事項】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエ3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるため、必ず適期に使用するよう注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまで十分効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件下では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 除草効果が低下するおそれがあるため、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合も、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空き袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布後は水管理に注意してください。

【1キロ粒剤・フロアブルの使用上の注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
 - 蜜に対して影響があるので、周辺の蜜菜にはかからないようにしてください。
 - 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 【1キロ粒剤の使用上の注意事項】
- 散布に当たっては、水の出入りを止めた湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。
 - 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空き袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【フロアブルの使用上の注意事項】

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止めた湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水がふくれ出ないように注意してください。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外してください。
 - 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - 隣接する圃場(水田以外)の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
 - 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - 葉剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液クワンの洗浄液は安全な場所に処理してください。
 - 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水田以外の作物への薬液散布には使用しないでください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空き袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【ジャンボの使用上の注意事項】

- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破損することがないようにしてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
 - 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 空き袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空き袋・空き容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

04R3C22B124:HP

2022年3月作成(博報堂プロダクツ)



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト 農薬力 <https://www.i-nouryoku.com>
住友化学アグロ事業部

